

2022.11

21

大掃除前に！「手放し先」リスト

年末の大掃除に向けて、部屋の整理を始めたいこの時季。ただ捨てるのはもったいない、なにかの形で活かしたい…。そんなものたちの「手放し先」について、片づけのプロ・下村志保美さんにお伺いしました。

<古着deワクチン>

開発途上国へポリオワクチンを寄付できる



「私がよく使っているのは古着deワクチンです。専用の回収キット（¥3,300税込み、回収のための送料込み）を購入し、機能的には問題ないけれどサイズが合わない、好みが変わったなどでも着ない洋服を詰めます。キットはTシャツが約100枚入る大容量、バッグや靴などの服飾雑貨を入れてもOKです。詰め終わったら集荷を依頼すると着払いで引き取ってくれます。このキットを私たちが購入することで開発途上国の子どもたちにポリオワクチンが届けられるので、5人の命を守ることができます。片づけながら袋に詰めていると『どうせならこの袋をパンパンにして送ろう』という気持ちになり、減らす作業に拍車がかかるので、ちょうどよいかも」（下村さん）。送った衣類は、カンボジアを中心に世界へ輸出され、販売、再利用されるシステム。現地での雇用やビジネスが生まれることにもつながります。

付録も回収できる！

古着deワクチンの専用回収キットが宝島チャンネルで購入できます！



宝島チャンネルにて「付録回収サービス」の限定セットの販売が、この秋スタートしました。

古着 de ワクチン専用の回収キット（¥ 3,300 税込み、回収のための送料込み）が購入できます！不要になった付録や衣類が回収できるキットと、エコバッグ（kippis のデザインがおしゃれなエコバッグ、黒またはベージュのいずれか 1 個）のセットです。

詳細、お申し込みは下記 URL またはお電話にて。
<https://tkj.jp/campaign/furugidevaccine2210/>
0120-203-760（土日祝日を除く 9 時～18 時）

教えてくれたのは



下村志保美さん

ライフオーガナイザー®、ファイナンシャルプランナー。

夫の転勤で海外生活を経験し、本当に必要なものだけで暮らす生活を実践。セミナーや個人レッスンで活躍。著書に『片づけのプロが教える心地いい暮らしの整え方』（三笠書房）。